

大学院工学研究科 博士後期課程 学生募集要項

本学における入学者受入方針(アドミッションポリシー)

長岡技術科学大学は、活力 (Vitality)、独創力 (Originality) 及び世のための奉仕 (Services) を重んじる V O S の精神をモットーとして、実践的・創造的能力を備え、国際的に活躍できる指導的技術者・研究者を養成することを目的に、次のような学生を広く求めます。

- 1 技術や科学をより深く研究する意欲をもつ人
- 2 新しい分野の開拓や理論の創出、もの作りに意欲をもつ人
- 3 国際的視野と感覚をもち、世界的研究を目指す人
- 4 独自の優れた個性を発揮する意欲をもつ人
- 5 独創的研究に取り組む意欲をもつ人
- 6 人間性が豊かで、人類の幸福に貢献しようとする意識をもつ人

1. 募集人員等

(1) 募集人員

研究科名	専攻名	募集人員	
		一般入試(外国人留学生含む) 社会人入試	
		第1回募集	第2回募集
工学研究科	情報・制御工学専攻	7人	各専攻若干人
	材料工学専攻	6人	
	エネルギー・環境工学専攻	7人	
	生物統合工学専攻	5人	
計		25人	

学内進学者を含む。

(2) 社会人入試について

社会人入試には、次の二つのコースがあります。

なお、在職のまま入学する者については、大学院設置基準第14条による教育方法の特例として夜間その他特定の時間又は時期に授業又は研究指導を受けることができる制度があります。(詳細は12ページを参照してください。)

一般コース

一般的な社会人のための再教育のコースです。

長期履修学生コース

このコースは、職業を有していること等の事情により学習時間が制約され、標準修業年限内での修学が困難な者に対して、標準修業年限を超えて一定期間を加えた期間に、計画的な教育課程の履修を認めるものです。

授業料については、通常の修業年限(博士後期課程3年)において支払う授業料の総額を、長期履修期間として認められた期間に均分して支払います。ただし、授業料が改定された場合、又は長期履修期間に変更があった場合には、改定又は変更時に授業料の見直しを行うことになります。(詳細は11ページを参照してください。)

2. 出願資格

(1) 一般入試

修士の学位又は専門職学位を有する者及び平成30年3月までに修士の学位又は専門職学位を授与される見込みの者

外国の大学において、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び平成30年3月までに授与される見込みの者

外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び平成30年3月までに授与される見込みの者

我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の教育制度において位置づけられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び平成30年3月までに授与される見込みの者

国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者及び平成30年3月までに授与される見込みの者

外国の学校、の指定を受けた教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し、大学院設置基準第16条の2に規定する試験及び審査に相当するものに合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者及び平成30年3月までに認められる見込みの者

大学を卒業し、又は外国において学校教育における16年の課程を修了した後、国・公・私立の大学及び研究機関並びに民間企業等の研究所、その他の研究開発のための施設において、2年以上研究開発に従事した者で、当該研究開発の成果等により、本学大学院において、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者

本学大学院において、個別の出願資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、24歳に達した者及び平成30年3月31日までに、24歳に達する者

(2) 社会人入試

一般コース

ア 上記(1)の～の者で、平成30年3月31日において、企業等で2年以上職員として勤務経験のある者

イ 上記(1)の～の者で、平成30年3月31日において、企業等で4年以上〔上記による研究開発に従事した2年以上の期間を含む。〕職員として勤務経験のある者

ウ 本学大学院において、個別の出願資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、27歳に達した者及び平成30年3月31日にまでに26歳に達する者で、企業等で4年以上職員として勤務経験のある者

長期履修学生コース

出願時において有職者、又は家事、育児に従事している者で、入学後その事情により著しく学習時間の制約を受ける者であり、次のいずれかの出願資格に該当する者（見込者は除く。）

ア 上記(1)の～に該当する者（見込者は除く。）

イ 上記(1)の～に該当する者

ウ 上記(1)の～に該当する者

(注1) 上記出願資格(1)の、並びに(2)の -イ、ウ及び -イ、ウに該当する者については、事前に出願資格審査が必要です。次の書類を、下記の期日までに提出してください。

出願資格審査は、提出された書類等を基に修士の学位を有する者と同等以上の学力を有しているか等、総合的に審査します。なお、出願資格審査の結果は、第1回募集は7月21日(金)に、第2回募集は1月5日(金)に大学から発送します。

審査の結果、出願資格を認定された者のみ出願を受理します。

(第1回募集出願希望：平成29年7月7日(金)
第2回募集出願希望：平成29年12月8日(金))

審査に必要な書類：

- ・出願資格認定審査調書(本学所定の用紙)
- ・研究歴証明書等(本学所定の用紙により、大学等研究機関の長又は所属長が作成したもの)
- ・研究成果報告書(1,000字以内)
- ・学習歴(卒業証明書及び成績証明書等)、実務経験及び国際的活動経験等を証明する書類(論文、研究報告、特許・実用新案、著書等の写し、学会等での活動歴等)

なお、学歴・経歴によっては、上記以外の書類の提出を求められることがあります。

(注2) 長期履修学生コースを希望する者は、必ず11ページの長期履修学生制度の内容を熟読し、学務課教務係へ問い合わせた上で、下記の期限までに関係書類を提出してください。

(第1回募集出願希望：平成29年7月10日(月)
第2回募集出願希望：平成29年12月11日(月))

3. 出願手続

(1) 出願期間

第1回募集：平成29年8月17日(木)～平成29年8月22日(火)[期間内必着]

第2回募集：平成30年1月15日(月)～平成30年1月18日(木)[期間内必着]

(注) 本学では、平成23年3月発生の東日本大震災(これに伴う東京電力福島第1原子力発電所の事故による避難を含む)及び平成28年4月発生の熊本地震の被災者に対する特別措置として、検定料の全額免除の制度を設けています。この制度の適用を希望する場合は、次の または を確認のうえ、検定料を振込む前に入試課入学試験第1係(電話0258-47-9271、9273)に連絡のうえ、申請手続きについて指示を受けてください。

出願者又は出願者の学資を主として負担している者(以下「学資負担者」という。)が被災地域に居住し、かつその者の家屋が次のいずれかに該当する被害を受けた場合

・全壊 ・大規模半壊 ・半壊 ・床上浸水 ・家屋流失

学資負担者の居住地が東京電力福島第一原子力発電所の事故により、帰還困難区域等に指定され、居住を制限された状態にある場合

(2) 出願に必要な書類等

- 一般入試の出願書類は、1～10です。
- 社会人入試 一般コースの出願書類は、1～12です。
- 社会人入試 長期履修学生コースの出願書類は、1～10及び13、14です。
- 社会人入試において、教育方法の特例を希望する者は、更に15、16の書類の提出が必要です。

出願に必要な書類等		摘 要
1	入学志願票・受験票	必要事項を本人が記入してください。 写真は、正面上半身無帽（縦 40mm×横 30mm）で、出願以前 3 か月以内に撮影したものを所定欄に貼り付けてください。
2	検定料振込済証明書貼付票	検定料振込済証明書を貼り付けてください。
3	検定料（本学所定の検定料振込依頼書により振込）	30,000円 金融機関（ゆうちょ銀行・郵便局を除く。）の受付窓口からの振り込みに限ります。（ATMは使用不可。） 振込手数料は、出願者の負担です。 本学大学院修士課程又は専門職学位課程を修了見込の者は不要です。 検定料の振り込みは出願期間の始まる 3 週間前から行えます。 検定料を振り込んだ時に、取扱銀行収納印を押した「検定料振込済証明書」と「受取書」を必ず受け取ってください。 「受取書」は領収書となりますので、大切に保管してください。 海外に在住し、本学所定の検定料振込依頼書を使用できない者は、5 ページの「注：4 . 海外からの検定料の振込」を参照してください。
4	成績証明書（大学・学部用）	当該大学の所定のもので厳封したもの
5	成績証明書（大学院修士課程又は専門職学位課程用）	当該大学の所定のもので厳封したもの
6	修士（専門職学位）課程修了（見込）証明書 又は 修士学位取得（見込）証明書	当該大学の所定のもの
7	修士論文等	（ア）修士論文又はこれに代わる論文（写）及び論文要旨。 ただし、修士課程修了見込者は、修士論文課題と研究の進行状況についての研究経過報告書（様式任意） 専門職学位取得（見込）者については、在学中に本人が行った研究内容の概要（様式任意）。 （イ）上記以外に研究発表等の資料があれば、提出してください。
8	志望調書	必要事項を本人が記入してください。
9	宛名票	合格、その他の通知に使用しますので、5 か所すべてに所要事項を記入してください。
10	返信用封筒 （長形 3 号 235mm×120mm）	本人の住所・氏名・郵便番号を明記し、362 円分の切手（速達郵便料金を含む。）を貼り付けてください。受験票等の送付に使用します。 海外に在住している者は、切手の代わりに国際返信切手券を下記の枚数同封してください。 アジア 11 枚 オセアニア、北米、中米、中近東 16 枚 ヨーロッパ 17 枚 南米・アフリカ 19 枚
11	在職期間証明書等	企業等での勤務経験を確認できる書類

12	業績報告書（様式任意）	次のとおり、本人が作成したもの 「在職中に本人が行った業務内容の概要（1,000字以内、関係資料がある場合は添付のこと）。その他本人の業績を表す文書の写し（論文、研究報告、特許・実用新案、著書等の写し、学会等での活動歴等）。」
13	長期履修計画書（写）	11ページの手続きの際に作成したものの写し
14	在職証明書	所属長が証明した在職証明書（様式は任意）又はそれに代わるもの
15	特例措置希望書	教育方法の特例措置を希望する者は、指導予定教員の合意を得た上で提出してください。詳細は、12ページを参照してください。
16	推薦書（特例措置希望者用）	本学所定の用紙により、所属長が作成したもの

（注）1．提出された出願書類は、いかなる事情があっても返還しません。

また、記載事項の変更を認めません。ただし、現住所、受験のための連絡場所等に変更があったときは、速やかに届け出てください。

2．証明書は、必ず原本を提出してください。外国の証明書で原本を提出できない場合は、大使館等公的機関で原本証明されたコピーを提出してください。

3．振込済の検定料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。

検定料を振り込んだが本学に出願しなかった場合

出願が受理されなかった場合

検定料等を誤って二重に振り込んだ場合

出願後に国費外国人留学生への採用が決定し、本学に入学する場合

〔返還請求の方法〕

下記担当まで問い合わせのうえ、「検定料還付請求書」（本学所定の書式）を入手してください。（窓口にてお渡しするか、郵送等によりお送りします。）

「検定料還付請求書」に必要事項を記入し、「検定料振込済証明書」を添付して、速やかに下記担当まで提出してください。

送付先（担当）：〒940 - 2188 新潟県長岡市上富岡町 1603 - 1

長岡技術科学大学総務部財務課経理係

TEL: 0258-47-9215 FAX: 0258-47-9040

返還には、本学で「検定料還付請求書」を受理した後、約1か月程度の期間を要します。

4．海外からの検定料の振込

海外から検定料を振り込む場合は、次のとおりとしてください。

検定料 30,000円

振込先銀行 みずほ銀行（銀行番号0001）

新潟支店（支店番号 400）

口座番号 普通預金 1717958

口座名義 長岡技術科学大学

検定料の振込方法（銀行振込の際にかかる手数料は、すべて出願者の負担です。）

送金種類: 電信送金

振込方法: 通知払い

振込銀行手数料: 依頼人負担

なお、振込み（入金）処理をする際には、以下事項に留意してください。

(a) 外国送金をする際には、必ず手数料は依頼人（出願者）負担と指定して送金して

ください。現地の金融機関での手数料のほかに経由する国や日本に到着してからも手数料が発生しますのですべての手数料を負担してください。(詳しくは現地の金融機関に確認してください。)

(b) 「検定料振込済証明書」の代わりに「振込領収書の写し」を出願書類に添付してください。(払込人と出願者は、同一の名前であること。)

(3) 出願書類の提出

出願書類等は、郵送又は持参してください。

郵送の場合：角形2号(330mm×240mm)の封筒により、書留・速達郵便とし、封筒の表に「博士後期課程出願書類在中」と記入してください。郵送期間を十分考慮のうえ必ず出願期間内に着くようにしてください。

持参の場合：出願期間内の平日の9時から17時までの間に持参してください。

4. 入試方法

学力試験及び提出された書類の各結果を総合して行います。

(1) 一般入試

提出された修士論文等を中心に、関連する専門分野についての試験及び語学の試験を行います。

ただし、海外在住者においては、本学大学院の判断により、本学試験場での試験を免除することがあります。

(2) 社会人入試

提出された修士論文(または、それに相当するもの)及び業績報告書等の内容についての試問を含む面接により行います。

5. 入試の期日及び場所

(1) 入試の期日

第1回募集 平成29年9月13日(水)・9月14日(木)

第2回募集 平成30年1月31日(水)・2月1日(木)

(2) 入試の場所：長岡技術科学大学

入試方法、試験場等の詳細については、別途、志願者に通知します。

6. 合格者の発表

第1回募集 平成29年10月5日(木)午前10時

第2回募集 平成30年2月15日(木)午前10時

本学に合格者の受験番号を掲示するとともに、合格者には「合格通知書」を送付します。

また、合格者の受験番号を本学のホームページにも掲載します。本学のホームページアドレスは、<http://www.nagaokaut.ac.jp/>です。

なお、「合格通知書」をもって、正式な通知とします。

(電話等による可否の照会には、一切応じません。)

7. 入学手続等

(1) 入学手続

入学手続時には「所定の書類(誓約書、保証書等)」の提出及び「入学料等」の納入をすることとなります。

(2) 納入経費

平成30年度入学者に係る具体的な金額は未定です。なお、本学大学院修士課程又は専門職学位課程を修了見込の者は、入学料は不要です。

参考 平成29年度入学者

入学料 282,000円

授業料 535,800円(年額)

8. 募集要項の交付

郵送を希望するときは、封筒の表に「博士後期課程(一般入試等)学生募集要項請求」と記入し、返信用封筒を同封して、申し込んでください。

詳しくは、本学ホームページ(<http://www.nagaokaut.ac.jp>)をご覧ください。

返信用封筒：角形2号(330mm×240mm)の大きさのものを使用して、本人の住所・氏名・郵便番号を明記し、250円分の切手(速達の場合は530円分の切手)を貼り付けてください。

海外に在住している者は、切手の代わりに国際返信切手券を以下の枚数同封してください。

- ・アジア：11枚
- ・オセアニア、北米、中米、中近東：16枚
- ・ヨーロッパ：17枚
- ・南米・アフリカ：19枚

9. 個人情報の取り扱いについて

出願書類に記載された住所・氏名・生年月日その他の個人情報は、適切に管理し、下記利用目的以外には使用しません。

- 入学者選抜、合格者の発表、入学手続き及びこれらに付随する事項
- 入学後の学務業務における学籍・成績管理
- 入学者選抜方法改善のための基礎資料

10. その他

- (1) 出願書類等に不備がある場合には、受理しないことがありますので、十分注意してください。
- (2) 出願書類等を受理したときは、「受験票」及び「受験者心得」を送付します。
- (3) 出願等に関して不明な点があるときは、問い合わせてください。